

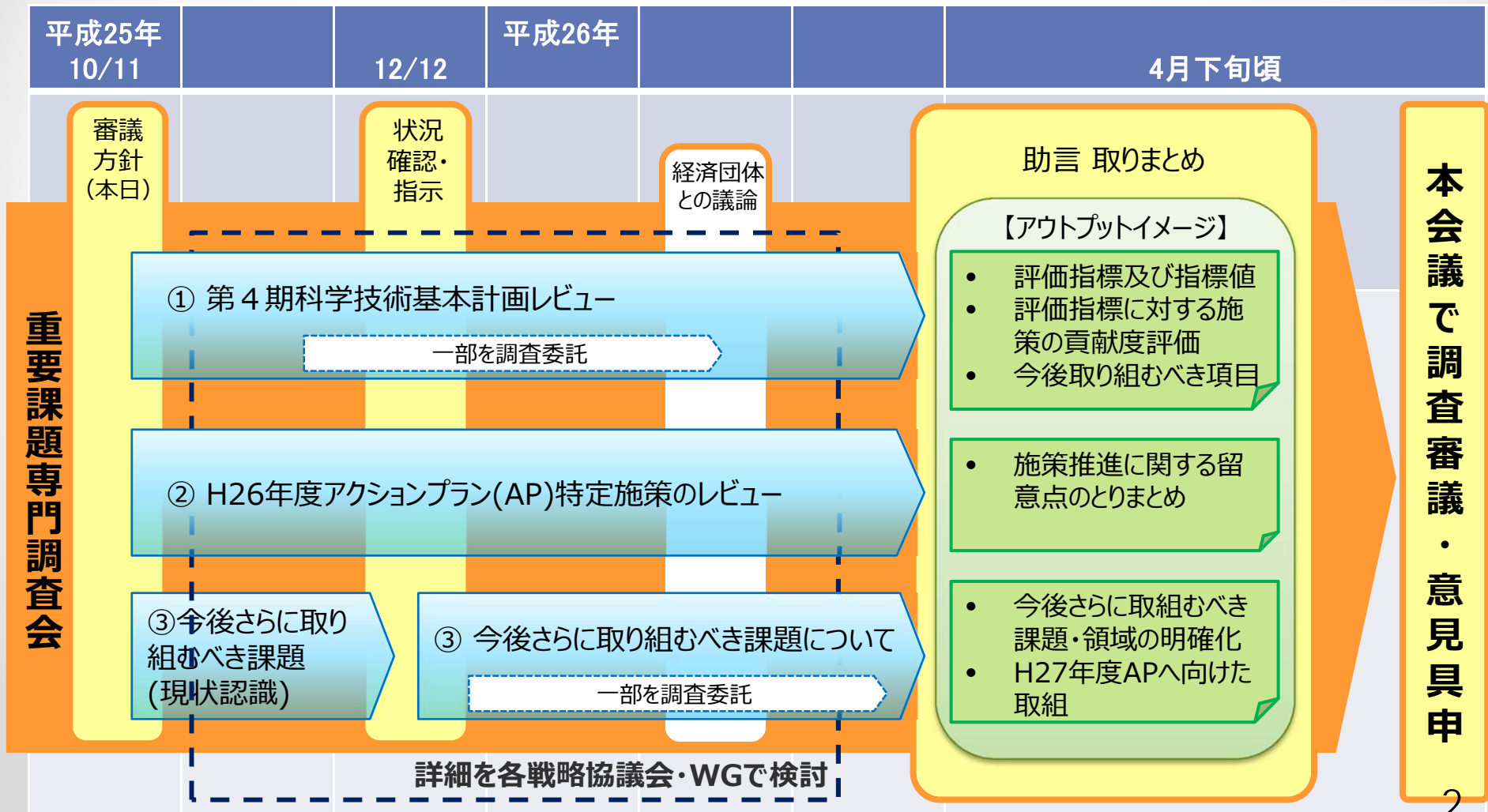
I C T - W Gの進め方について (案)

平成 2 5 年 1 1 月 2 9 日

重要課題専門調査会の審議方法について

重要課題専門調査会 (H25.10.11)
資料 2 - 1 より

- ◆ 重要課題専門調査会において4期基本計画及び科学技術イノベーション総合戦略に掲げられた当面取り組むべき重要な課題並びに今後さらに取り組むべき課題全体を扱う
- ◆ 評価指標などを用いた詳細な調査・検討を各戦略協議会・WGで行う



構成員の先生方へのお願い事項

◆ ICT-WGにおいて活発かつ建設的な議論が進められるよう、構成員の先生方には、それぞれの審議事項におけるご担当分野において、つぎのとおりご検討をお願い申し上げます。

① 第4期科学技術基本計画レビュー

◆ 評価指標および評価、今後の取り組みについてのコメント

- 評価指標や課題に対する評価、今後の取り組みについては事務局（調査会社への委託）により検討を進め、逐次ご報告いたします。ご担当分野の検討案について、適切な指標が選ばれているか、評価内容が適切か等の観点からコメントをお願いいたします。

② H26年度アクションプラン(AP)特定施策のレビュー

◆ 施策推進のための方策・留意点の検討

- とりまとめ構成員の先生におかれましては、第1回WGの議論状況等をふまえ、第2回もしくは第3回WG（1月中旬）において、10分程度、施策推進にあたってのキーポイント（注力する技術開発、補足すべき技術開発、整理すべき規制緩和等）について、ご担当構成員の助言をとりまとめ、ご提案（プレゼン）をお願いいたします。

③ 今後取り組むべき課題

◆ 注目課題の整理と紹介

- 今後注目される課題（社会的課題、技術等）をご検討いただき、第1回もしくは第2回WGにおいて10分程度のご提案（プレゼン）をお願いいたします。

関係各府省へのお願い事項

◆ ICT-WGにおいて活発かつ建設的な議論が進められるよう、関係各府省には、それぞれの審議事項において、つぎのとおり協力をお願いします。

① 第4期科学技術基本計画レビュー

◆ 各省施策の追加質問対応等

- 内閣府にて評価指標の検討や、今後取り組むべき課題の検討等を行います。これらの検討にあたり、**各省施策への質問対応や、レビューのとりまとめにあたっての照会**を予定していますので、対応をお願いします。

② H26年度アクションプラン(AP)特定施策のレビュー

◆ A P の概要説明と構成員との議論

- それぞれのテーマについて2回のWGに分けて議論を進めます。1回目のWGでは、各府省よりA Pのプレゼンをいただき、構成員との質疑応答にご対応願います。プレゼンは、**出口戦略の明確化、施策推進にあたっての課題（現在困っていること等）に主眼を置いたプレゼン**をお願いします。
- 2回目のWGでは、1回目のWGを受け構成員より、施策をより効果的にするための助言をプレゼンいただきますので、**その内容について議論**願います。

③ 今後取り組むべき課題

◆ 注目課題の整理と紹介

- **各府省において検討している今後注目される課題（社会的課題、技術等）があれば、10分程度のプレゼン**をお願いいたします。（実施回は別途調整）

議論の進め方について

◆ まず ICT-WGの問題意識を共有することを目的に、③今後さらに取り組むべき課題から議論を進める

回数	予定日時	① 4期計画レビュー (検討対象：別添1)	② H26APレビュー (検討対象：別添2)	③ 今後さらに取り組むべき課題
第1回	11/29(金) 10:00-12:00	◆ レビューの進め方について	■ H26AP状況説明 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 構成員が注目する今後取り組むべき課題の紹介(1) ● 国民からの幅広い意見募集について
第2回	12/16(月) 15:00-17:40	◆ 調査委託進捗報告(レビュー例の説明)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 構成員によるH26AP推進に向けた助言の提示と議論(1) ■ H26AP状況説明(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 構成員が注目する今後取り組むべき課題の紹介(2)
第3回	1/17(金) 9:30-12:00	◆ 調査委託中間報告 →会議後、議論結果を速やかに反映し、メールベースで共有	■ 構成員によるH26AP推進に向けた助言の提示と議論(2)	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見募集結果に対する議論
第4回	2/20(木) 15:00-17:30	◆ 調査委託最終案報告と議論 (経済団体との議論含む)	■ 助言のとりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 注目技術の動向調査報告・議論
第5回	3/7(金) 9:30-12:00 【予備日】 3/14(金) 9:30-12:00	◆ H25年度ICT-WG検討結果・助言とりまとめ(案)に関する議論		

【別添1】ICT-WGでの検討対象（4期基本計画）

◆ ICT-WGが所掌する4期基本計画の課題領域は下表のとおりである。（※）

Ⅱ. 3 グリーンイノベーション	(2) 重要課題達成のための施策	ii) エネルギー利用の高効率化及びスマート化
		iii) 社会インフラのグリーン化
Ⅲ. 2 重要課題達成のための施策の推進	(1) 安全かつ豊かで質の高い国民生活の実現	iii) 国民生活の豊かさの向上
	(2) わが国の産業競争力の強化	i) 産業競争力強化に向けた共通基盤の強化
		ii) 我が国の強みを活かした新たな産業基盤の創出
	(4) 国家存立の基盤の保持	i) 国家安全保障・基幹技術の強化
		ii) 新フロンティア開拓のための科学技術基盤の構築
(5) 科学技術の共通基盤の充実、強化	i) 領域横断的な科学技術の強化	

（※）詳細は資料1-2別紙参照（ピンクで色掛けした部分）

【別添2】ICT-WGでの検討対象（H26年度AP）

◆ ICT-WGでの検討対象となるH26年度APは下表のとおりである。

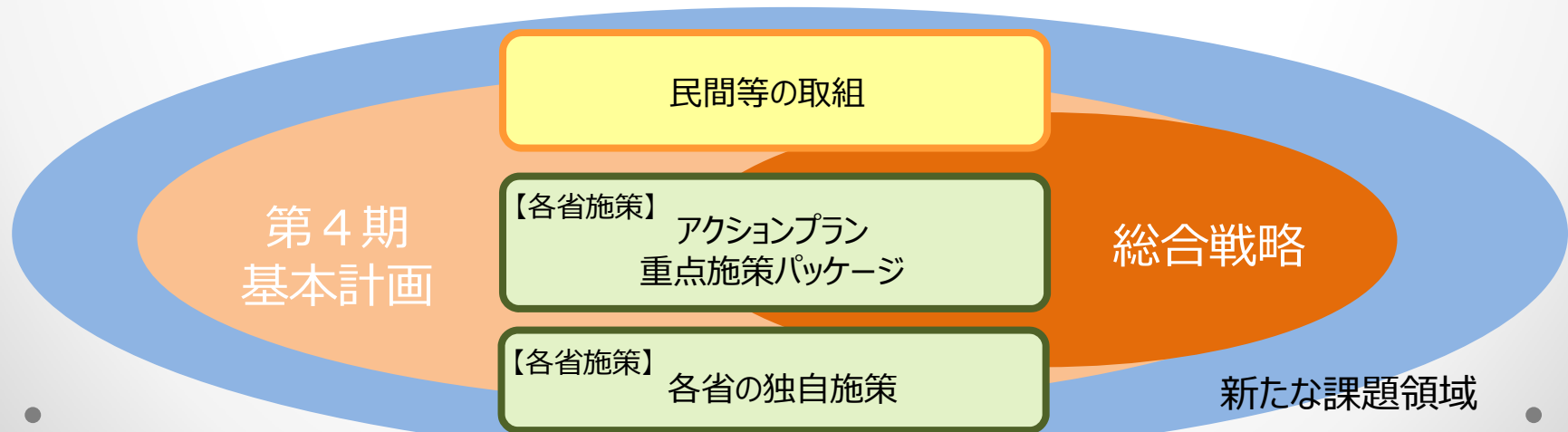
管理番号		施策名	実施府省	AP 特定分野	備考	各省 プレゼン	構成員 助言
1	次・総05	ビッグデータによる新産業・イノベーションの創出に向けた基盤整備	総務省	次世代 インフラ	経産省・文科省との連携施策	第2回WG	第3回WG
2	次・総04	サイバーセキュリティの強化	総務省	次世代 インフラ	経産省との連携 施策	第2回WG	第3回WG
3	エ・総01	「フォトニックネットワーク技術に関する研究開発」 及び「超高速・低消費電力光ネットワーク技術 の研究開発」	総務省	エネルギー		第2回WG	第3回WG
4	エ・総02	テラヘルツ波の利用による超高速・低消費電力 無線技術および高効率高周波デバイス技術の 研究開発	総務省	エネルギー		第2回WG	第3回WG
5	エ・経03	次世代スマートデバイス開発プロジェクト	経産省	エネルギー		第2回WG	第3回WG
6	エ・経05	超低消費電力型光エレクトロニクス実装システ ム技術開発	経産省	エネルギー		第1回WG	第2回WG
7	エ・経13	次世代型超低消費電力デバイス開発プロジェク ト	経産省	エネルギー		第1回WG	第2回WG
8	エ・文07	創発現象を利用した革新的超低消費電力デ バイスの開発	文科省	エネルギー			
9	エ・文12	スピントロニクス技術の応用等による極低消費エ ネルギーICT基盤技術の開発・実用化	文科省	エネルギー	責任省庁を文科 省とした連携施策	第1回WG	第2回WG
10	エ・経01	ノーマリーオフコンピューティング基盤技術開発	経産省	エネルギー			

以下、参考資料

①第4期科学技術基本計画レビューの進め方について

◆ 第4期基本計画のレビューは、総合戦略のレビューや第5期基本計画の策定まで見据え、わが国全体の取り組みを評価できる内容として進める。

実施内容	進め方（案）	成果の活用
1. 評価指標検討	◆ 4期基本計画の達成度を評価するため、市場創出や国際比較など、評価方針を明確にした上で、可能な限り定量的な指標を検討する【アウトプットイメージⅠ】	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定された課題解決の加速（今後取り組むべき項目の整理） ● 5期基本計画策定に向けた基礎情報
2. 施策実施状況評価・分野別分析	◆ 各省施策および、民間等取組の成果を整理し、評価指標の変化に対する貢献度等を評価した上で、課題領域ごとに取り組むべき新たな事項を抽出する【アウトプットイメージⅡ】	



① 4期計画レビューアウトプットイメージ I : 評価指標

◆ 評価指標は、市場創出や国際比較など、課題解決状況を評価する方針を明確にした上で検討する

第4期基本計画における課題領域				指標区分	評価指標	指標値						補足 (出典等)
						2005	2010	2012	2013	2015	2020	
II. 3. グリーンイノベーション	(2) 重点課題達成のための施策	ii) エネルギー利用の効率化及びスマート化	情報通信技術 ・次世代情報通信ネットワーク ・情報通信機器やシステム構成機器の省エネルギー化 ・ネットワークシステム全体の最適制御	社会指標	エネルギー管理関連市場規模							
				技術指標	ブロードバンド普及率							
					通信トラフィック量							
					ネットワーク仮想化率							
	光ネットワーク化率											
	iii) 社会インフラのグリーン化	総合システム ・社会インフラ（電力、ガス、水道、交通等）と一体化した巨大ネットワークシステム	社会指標	消費電力								
			技術指標	センサーの出荷額推移								
				M2Mの通信容量								
センサー消費電力												

・評価指標は、社会的観点（アウトカムへの貢献等）、技術的観点から検討する

・評価指標は可能な限り定量的な指標値とし、指標値の変化をおさえる
 ・評価指標の関係から問題点を抽出できるよう、複数評価指標を検討する

① 4期計画レビューアウトプットイメージⅡ：実施評価

◆ アウトプットⅠにおける評価指標の変化に各施策がどう貢献したかを評価した上で、それぞれの課題領域において今後取り組むべき項目を明確にする

第4期基本計画における課題領域				施策・取組	これまでの成果	評価指標に対する貢献度評価	今後取り組むべき項目
Ⅱ. 3. グリーンイノベーション	(2) 重点課題達成のための施策	ii) エネルギー利用の効率化及びスマート化	情報通信技術	【各省施策（特定）】			
			・次世代情報通信ネットワーク	◆	【各省施策（特定）】		
			・情報通信機器やシステム構成機器の省エネルギー化	◆	【各省施策（独自）】		
			・ネットワークシステム全体の最適制御	◆	【各省施策（独自）】		
				◆	【民間施策】		
				◆	【民間施策】		
	iii) 社会インフラのグリーン化	総合システム	【各省施策（特定）】				
		・社会インフラ（電力、ガス、水道、交通等）と一体化した巨大ネットワークシステム	◆	【各省施策（特定）】			
			◆	【各省施策（独自）】			
			◆	【各省施策（独自）】			
			◆	【民間施策】			
			◆	【民間施策】			

・各省施策だけでなく、民間施策も含めたこれまでの成果を整理する

・それぞれの施策が評価指標の変化にどう貢献したかを評価する
 ・評価の過程で今後取り組むべき項目を明確にする